

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	子どもの体力向上に向けた調査研究		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度・未定		担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)		参事官 宮内健二			
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 XII-1 子どもの体力の向上					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第2条第2項		関係する計画、 通知等	スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定) スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 全国的な子どもの体力の状況を把握・分析し、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証する。その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。</p> <p>【子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発】 発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動き(身体を操作する能力)を習得するための運動プログラムを開発・作成し、全国9箇所にて実技指導者講習会を開催し、学校における体育指導や地域における子どもの体力向上に向けた取組を推進する。</p>								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 全国的な状況を明らかにするとともに、都道府県、市町村、学校、児童生徒に各々の調査結果を提供する。</p> <p>【子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発】 基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)を身に付けるために作成したプログラムを地域のスポーツ指導者等を対象として、実技指導者講習会を実施する。</p>								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	140.2	119.1	97.4	302.3	305.5		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
	計		140.2	119.1	97.4	302.3	305.5		
	執行額		136.7	83.8	99.2	-	-		
執行率(%)		97.5%	70.4%	101.8%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	学校において体育・保健体育の授業改善に取り組んだ学校の割合			成果実績	%	79.4	-	80.5	90
				達成度	%	99.3	-	100.6	-
	運動プログラムを効果的に指導するための実技講習会の満足度			成果実績	%	90.9	96.7	97.0	-
			達成度	%	90.9	96.7	97.0	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の配布数(都道府県・市町村教育委員会、小学校、中学校) ※平成23年度は過去3年間の調査結果をまとめた取組ハンドブックを配布			冊	15,000 (15,000)	39,200 (39,200)	13,500 (15,000)	- (46,000)	
	子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会への参加者数			人	1,506 (1,800)	1,352 (1,800)	1,391 (1,800)	- ()	
単位当たりコスト	平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書1冊あたりのコスト 220円/冊			算出根拠	単位あたりコスト=平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書作成にかかった経費2,977万円/作成数13,500冊				
	子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会参加者1人当たりのコスト 5,751円/人				単位あたりコスト=平成24年度プログラムの普及啓発執行額88万円/参加者数1,391人				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	スポーツ振興事業委託費	295.5百万円	295.1百万円						
	諸謝金	3.1百万円	3.1百万円						
	委員等旅費	3.0百万円	2.8百万円						
	庁費	0.7百万円	4.5百万円						
	計	302.3百万円	305.5百万円						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	スポーツ基本計画の施策目標に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等による検証を行いつつ、子どもが積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲を養い、体力の向上を図ると明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。国は子どもの体力の現状を集計・分析し、都道府県等に情報提供を行うなど昭和60年度の水準を上回ることができるよう、積極的に取組を推進していく必要がある。 平成25年度は一人一人の児童生徒の体力の状況をより正確に把握し、体育授業の改善につなげることを目的とし、全国体力・運動能力、運動習慣等調査は悉皆で調査を行う。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の認定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で、公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。なお、委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	特に成果の上があった学校の取組を報告書内に事例集としてまとめ、全国の学校、教育委員会等に配布するなど、子どもの体力向上の目標達成に向け支援を行った。さらに、プログラムの普及啓発についても計画通り実施し、参加者からも高い満足度が示されているなど、子どもの体力向上の普及啓発につながっていることが認められる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	<p>・当該事業の執行状況に係る点検方法については、委託事業完了報告書に添付される証拠書類(収支簿、見積書、納品書、請求書等)を検査することにより、適切な執行が行われていることを確認している。</p> <p>・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において特に成果の上があった学校の取組について、報告書内で事例集としてまとめ、学校・教育委員会等に配布した。</p> <p>・「子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム」の講習会は、参加者の高い満足度を得られていることから、確実にプログラムの普及が図られていると認められる。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 内容 の 改 善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析し、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題の検証や子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発を推進する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、さらなる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	<p>本事業については、委託先の公募の実施に当たって、調査における実施体制を見直すことにより、事業の効果的・効率的な実施を図ったところである。その結果、委託先との契約価格が当初の予定を下回ったものと分析しているが、平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また積算単価等を見直すことによって、概算要求に▲1百万円反映した。なお、「子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発事業」は当初の目的を達成したことから平成24年度限りで廃止とした。</p>					
備考						
<p>平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kodomo/zencyo/1332448.htm</p> <p>子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/program/1299109.htm</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0340/0341/0342	平成23年	0341	平成24年	0361

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
99.23百万円

諸謝金 1.08百万円
委員等旅費 0.73百万円
庁費 0.07百万円

○子どもの体力の状況を把握・分析し、その改善を図るために実技講習会を実施したり、報告書等作成し、各都道府県・市区町村教育委員会等に配布し、子どもの体力向上のための施策等に活用する。

【総合評価入札】
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

A. (株)東京書籍
89.25百万円

○平成24年度調査結果の集計・分析
○平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書
(13,500部)

【公募・委託】
子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発

B. (財)日本体育協会
8.10百万円

○基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)を身に付けるために作成したプログラムを地域のスポーツ指導者等を対象として、実技指導者講習会を全国9箇所で開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 東京書籍(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	データ分析、資料作成等	35.82			
通信運搬費	資材等配送料	25.07			
印刷製本費	調査資材等印刷費	20.20			
一般管理費		2.96			
人件費	研究職員	2.92			
消耗品費	配送資材	1.41			
諸謝金	委員等謝金	0.46			
旅費	委員等旅費	0.26			
消費税相当額		0.15			
計		89.25	計		0
B.(財)日本体育協会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借損料	講習会会場費等	2.70			
旅費	委員等旅費	2.36			
諸謝金	委員等謝金	1.02			
雑役務費	資料作成、会場設営等	0.92			
人件費	事務局職員	0.14			
通信運搬費	資料等送付	0.14			
一般管理費		0.74			
消耗品費	消耗品	0.05			
会議費	講習会打合せ会議	0.03			
計		8.10	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京書籍(株)	○平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の集計・分析 ○平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成	89.25	2	89.07

B. 子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの普及啓発

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本体育協会	基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)を身に付けるために作成したプログラムを地域のスポーツ指導者等を対象として、実技指導者講習会を全国9箇所で開催する。	7.98	企画競争	—